

平成26年度 安心まちづくり室  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
<p>組織の基本方針又は使命</p> <p>防災・危機管理機能の充実や市民が誰でも安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。</p>	1.避難所運営マニュアルの作成	・有事の際、迅速かつ円滑な避難所の開設・運営を行う。	・避難所運営マニュアルの雛形を作成し、避難所毎の個別マニュアルの作成について検討を進める。	・避難所運営マニュアルの雛形を策定した。	A	・避難所運営マニュアルの雛形を基に、避難所毎の個別マニュアルを作成する予定。
	2.避難所開設運営訓練の実施	・有事の際、迅速に適切な避難所運営が行えるよう訓練を行う。	・有事の際、迅速に適切な避難所運営が行えるよう訓練及び一泊体験訓練を行う。(HUGの活用など)	・田辺東小学校で、避難所開設運営訓練及び避難所一泊体験を実施した。	A	・平成27年度は、大住中学校で避難所運営訓練及び避難所一泊体験を実施する予定。
	3.自主防災組織の育成	・災害時における地域での共助の体制づくりを支援する。河原区他22自治会結成済。	・自主防災組織の結成を目指す区・自治会の支援。 ・自主防災組織連絡会(仮称)の設立	・三野区・山手東連合自治会・山手南自治会第二ブロックにおいて自主防災組織が結成された。	A	・今後も自主防災組織の結成を目指す区・自治会の支援を行う。
	4.地域防災マップの作成	・市民協働による地域版防災マップの作成(木津川破堤想定)	・区・自治会単位で市民協働による地域版防災マップの作成(2カ所)	・西八区・薪区で地域版防災マップを作成した。	A	・平成27年度は、2カ所で地域版防災マップを作成する予定。
	5.災害時要配慮者避難支援計画(モデル地区の選定・福祉避難所の指示)	・災害時要配慮者の避難支援の充実	・災害時における要配慮者の避難を支援するモデル地区を現在自主防災組織の設立されている地区から選定すると共に、福祉避難所の指定を行う。	・健康福祉部と連携し5地区のモデル地区を選定。社会福祉法人共生福祉会と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結した。	A	・来年度以降も健康福祉部と連携し、地域の協力が得られるところから、順次避難支援計画書を作成する。

※【目標の達成度の区分 A. 達成できた B. 概ね達成できた C. 達成できなかった】

平成26年度 安心まちづくり室  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	6.防災無線アンテナの設置	・避難所の通信環境をより確実なものとする。	・各小・中学校の体育館等に防災無線アンテナを設置する。	・14カ所の広域避難所の体育館等に防災無線アンテナを設置した。	A	
	7.防犯カメラの設置	・防犯対策を強化するため防犯カメラを設置する。	・北部の拠点駅である松井山手駅周辺に防犯カメラを設置する。	・松井山手駅周辺に防犯カメラを5台設置した。	A	・平成27年度に興戸駅周辺に設置する予定。
	8.防犯灯のLED本格導入に向けた検討	・防犯灯の省エネルギー施策として、LED照明の導入を推進する。	・防犯灯の省エネルギー施策として、LED照明の導入を推進する。	・検討の結果、平成27年度に市内約6000灯の防犯灯をLED化することが決定した。	A	・平成27年度に市内約6000等の防犯灯をLED化する予定。
	9.災害時の応援協定に基づく市との連携	・災害時の応援協定に基づく市との連携	・鹿児島県霧島市、千葉県習志野市との合同訓練や勉強会の実施	・習志野市に招かれて、京田辺市の危機管理監が風水害の住民避難について防災講話を行った。	A	

※【目標の達成度の区分 A. 達成できた B. 概ね達成できた C. 達成できなかった】